

【学校教育目標】自分の可能性を信じ、新しい時代を心豊かで、たくましくしなやかに生きる生徒の育成

本校生徒の実態 道徳アンケートより

〈肯定的意見が高い項目〉

- ・自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

〈肯定的意見が低い項目〉

- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・道徳の時間に考えたことを生活中で思い出したこと（生かしたこと）がある。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。



「協学」とは、単なる「協力」や「共同作業」にとどまらず、互いの違いを認め合い、尊重しながら対話を通して、他者の考えと自分の考えをつなぎ合わせ、考え方を練り上げ、新たな考え方や価値を創造し、学びを深める営み

I 道徳教育の推進

学校でのつながり

・道徳に関連した掲示物などを通して、自己有用感を高めたり、他者理解を深めたりするような風土づくり

・学年の枠を越えて交流する機会や、安心して自分の意見を伝え合う雰囲気づくり

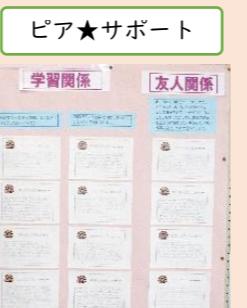
構成的グループ エンカウンター



「なま大切にする心」「かんしゃする心」「ぶん大切にする心」「まじめ努力する心」自分は何を実践するかを宣言する



仲間の良いところを見つけ、伝え合う



生徒の悩みに対し、生徒が共感しながらアドバイスを贈る



生徒の声
自分のしたことがない方法がいっぱいあって、やってみて力が付いたと感じた。解き直しが大切だと思った。

家庭とのつながり



授業内容や生徒のコメントを載せて月1回学年ごとに発行する



夏休みに、地域の宝について家族で話し合う

生徒の声
自分では思いつかないことが家族の考えで深まったり、新しく気づいたことがたくさんあった。家族で道徳をするのもいいなと思った。



着なくなった子ども服を難民に届ける

生徒の声
普段あまりしゃべらない1,2年生とも話すことができて、交流できるいい機会でした。

地域とのつながり



出前授業

地域の方から郷土の魅力について学ぶ



介護施設に暑中見舞い

文化委員会が企画している暑中見舞いの絵葉書を贈る



Nクエスト（縦割り班の遠足）

縦割り班で写真を手掛かりに町のスポットを巡る



職場体験学習

将来の生き方について考えを深める

II 道徳科の指導の充実

授業づくり



【ご指導いただいた先生】
岐阜聖徳学園大学 山田貞二教授
① 模擬授業、研修会（5月）
② 教材分析と授業づくり（7月）
③ 授業研究（9月）

授業者之声

今まででは指導案どおりに授業を行っていたが、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるには生徒に何をどう發問するとよいか、いろいろ自分で考えるようになった。

授業力向上



職員室の様子

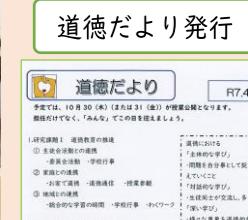
テーマに迫る「問い合わせ」をどのように生徒から引き出すのかを検討する



授業整理会で課題を共有



ローテーション道徳



道徳だより発行

授業スタイル



教材の内容確認



初発の感想交流



コの字型座席



視点を決めて振り返り

① テーマ提示
教材の説明
② 初発の感想交流
問い合わせづくり
③ 中心発問
④ 議論する
⑤ 振り返り



ICTを活用して議論する



ファシリテーターが広げる